

相互理解と日本語習得支援を 両立させる取組と人材配置について

(公益財団法人) 千葉市国際交流協会

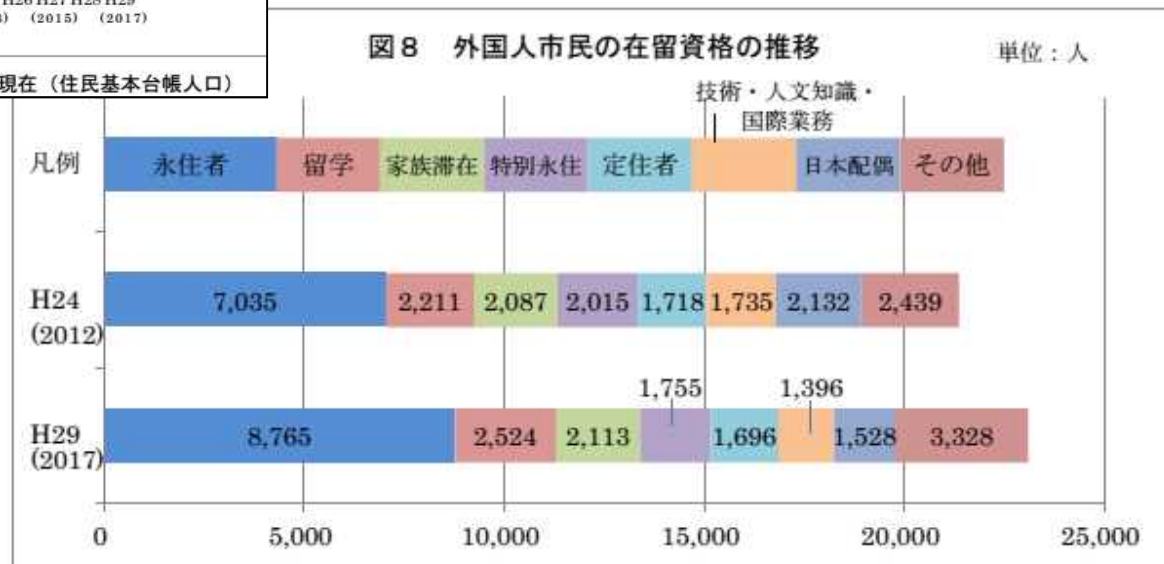
日本語教育事業担当 鈴木恵美子
委嘱日本語教育コーディネーター 萬浪 絵理

1. 千葉市の日本語教育の現状—外国人住民数

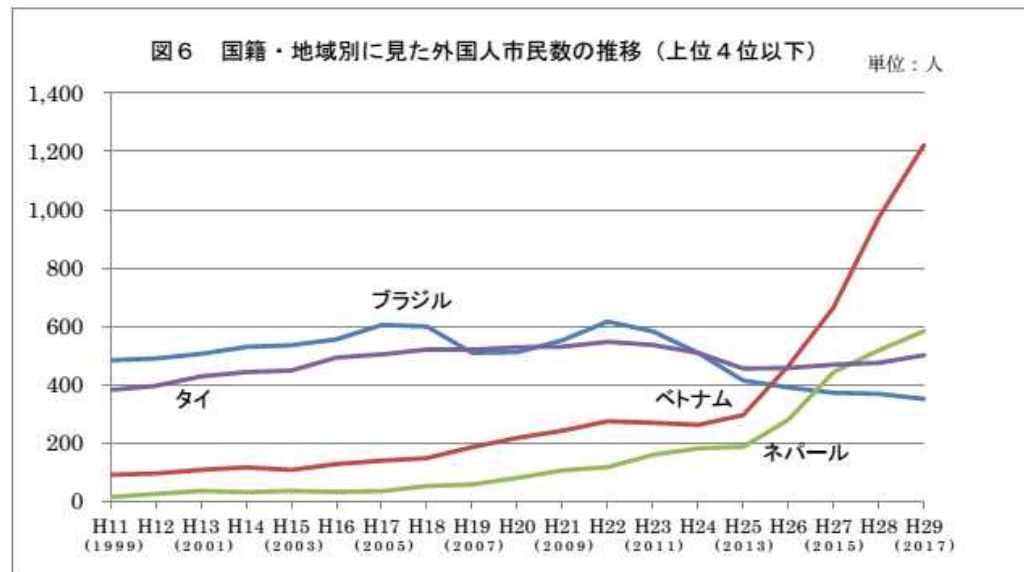
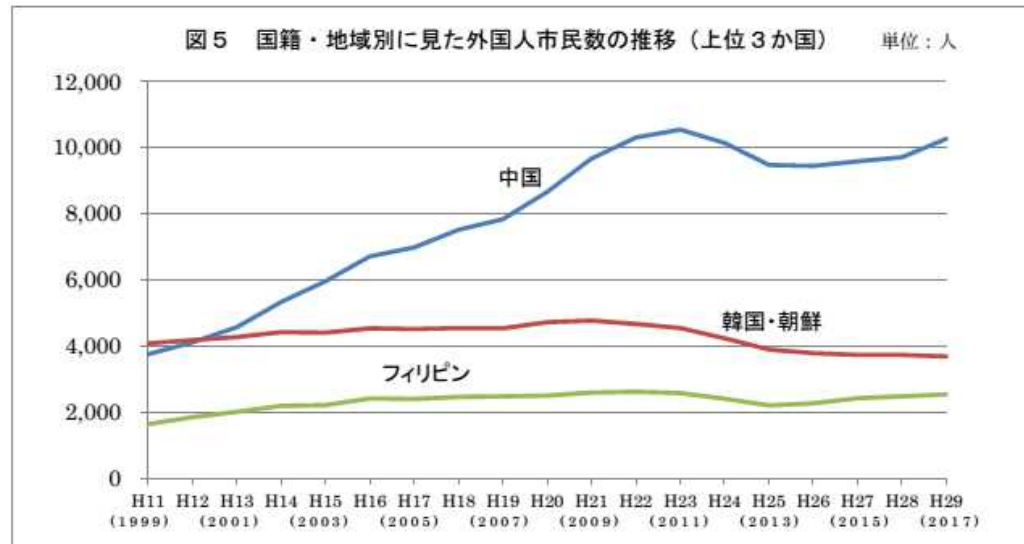


「千葉市多文化共生のまちづくり推進指針」
(平成29年12月) より引用

<http://www.city.chiba.jp/somu/shichokoshitsu/kokusai/documents/tabunka-guideline.pdf>



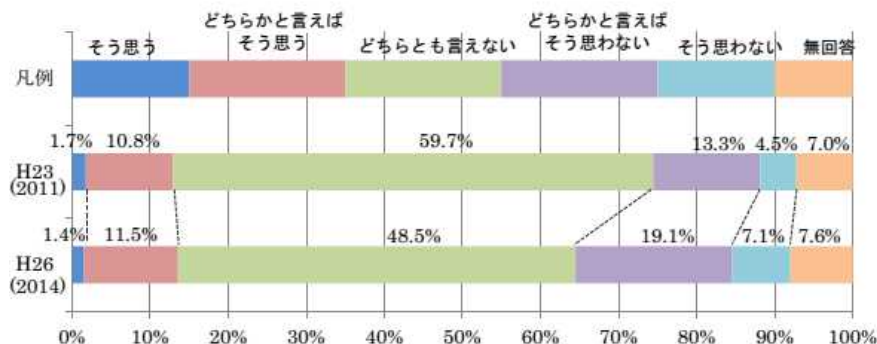
1. 千葉市の日本語教育の現状—外国人住民数



「千葉市多文化共生のまちづくり推進指針」（平成29年12月）より引用
<http://www.city.chiba.jp/somu/shichokoshi-tsu/kokusai/documents/tabunka-guideline.pdf>

1. 千葉市の日本語教育の現状—外国人に対する施策

図9 外国人市民と日本人市民の互いの理解が進んでいる



外国人市民と日本人市民が、
互いに言葉や文化の違いを認め合い、
理解し合うことが一層重要!!



推進の基本理念

全ての市民が、国籍や言語・文化などの違いを認め、互いに分かり合い、
支え合い、多様性をまちの力にする多文化共生社会を実現することで、
国際都市としてのさらなる発展を目指す

推進の方向性 1

全ての外国人市民が、安
全・安心に暮らすための必
要な支援の充実

【主な施策の例】

- 多言語による各種情報の提供
- 外国人市民の自立に向けた日本語学習支援の強化
- コミュニティ通訳ボランティアの普及
- 外国人世帯の生活基盤の安定
- 外国人市民の防災対策の推進

推進の方向性 2

違いを認め、互いに分かり
合い、支え合い、多様性を
まちの力にする意識の醸成

【主な施策の例】

- 異文化理解・相互理解の促進
- 未来を創る青少年の国際感覚の涵養
- 日本語交流の推進
- 多文化共生拠点としての国際交流プラザの機能の充実
- 人権意識の啓発

推進の方向性 3

ともに生活を楽しみ、人生
をより豊かにする活躍の機
会の創出・拡充

【主な施策の例】

- 国際交流ボランティア活動の推進
- 外国人市民と日本人市民がともに働く場の創出
- 外国人市民と日本人市民がともに楽しむ場の創出
- 外国人留学生の活躍に向けた関係機関との連携
- 日本語を母語としない青少年の就学支援

「千葉市多文化共生のまちづくり推進指針」（平成29年12月）より引用

2. 用語について

千葉市国際交流協会での名称	「報告※1」において相当する用語
①日本語教育コーディネーター	地域日本語教育コーディネーター
②日本語交流員 (※2)	日本語学習支援者
③中核交流員 日本語交流員のうち、中核的に 日本語クラスに関わる人材)	日本語学習支援者
④日本語教師	日本語教師【中堅】
⑤日本語学習支援者 日本語交流員のうち、日本語の基礎的な 文型・文法の指導ができる者	日本語教師【養成】【初任】
⑥外国人参加者	日本語学習者

※1 「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）」

H30.3.2 文化審議会国語分科会

※2 「日本語交流員」は単に日本語で交流を楽しむ者ではなく、対話による相互理解を図りながら外国人の日本語習得を促進する者。

3. 地域日本語教育の体制整備に向けた取組の経緯

▶ 地域課題

- ・ 地域日本語教室の担い手の減少、高齢化
- ・ 在留外国人の増加と多様化への対応
- ・ 市民活動を活かした実効性ある日本語教育の推進

▶ 日本語教育事業の目的

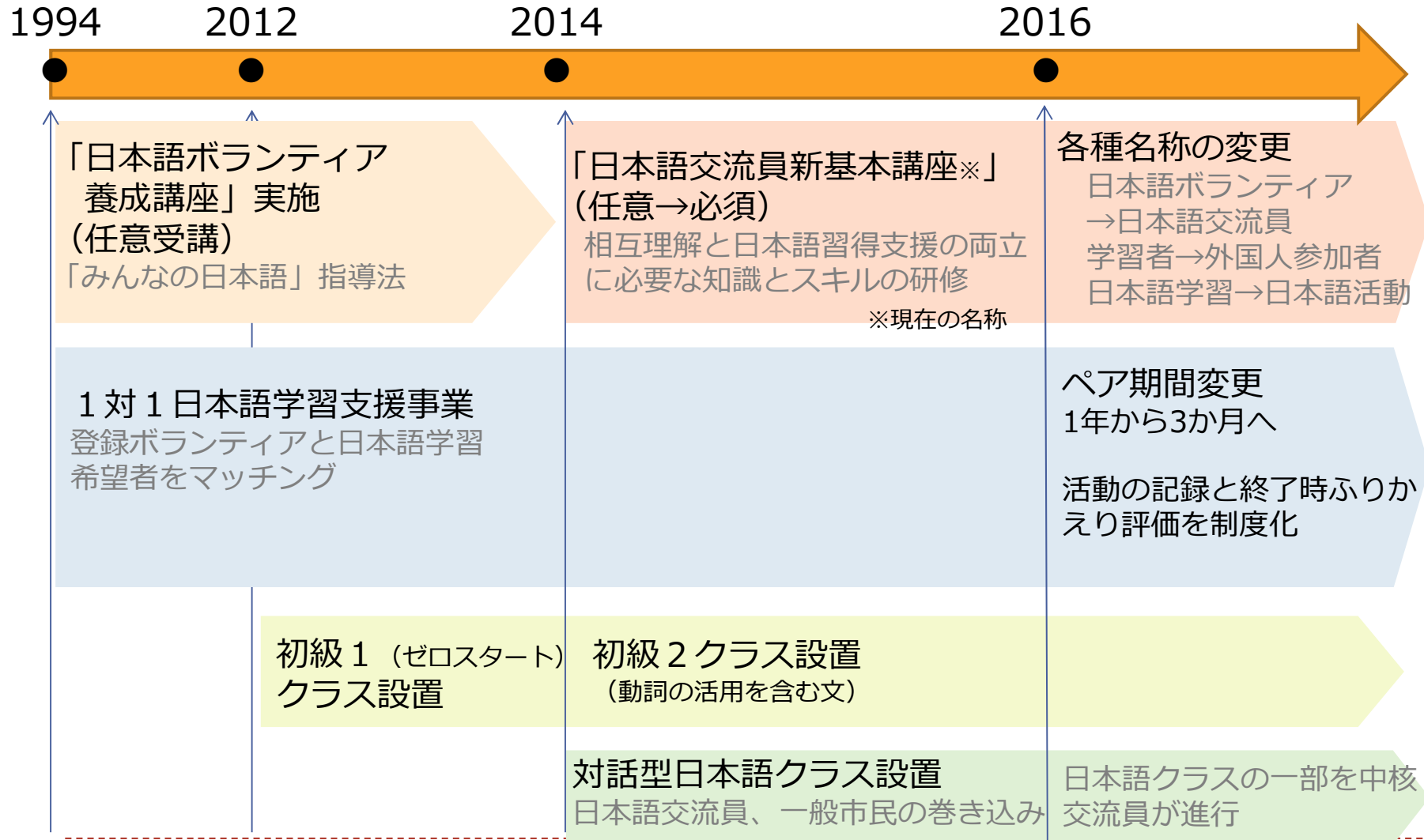
- ・ 外国人の地域参加、日本語運用能力向上
- ・ 文化習慣や価値観の異なる市民同士の相互理解



相互理解と日本語習得支援の両立

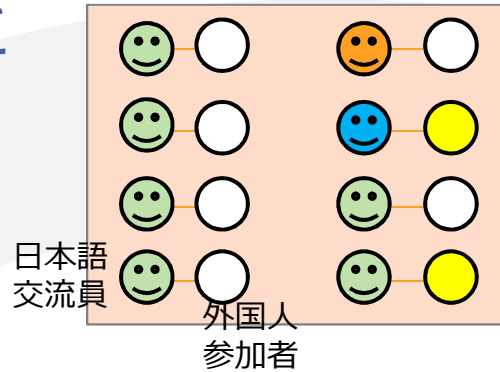
取組の変化

文化庁「「生活者としての外国人」のための日本語教育事業」受託
日本語教育コーディネーターの配置

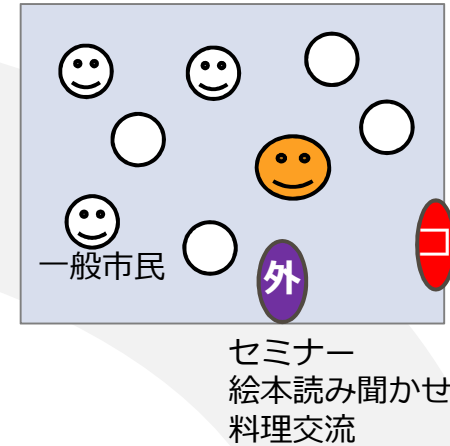


4. 現在の日本語教育体制と人材配置

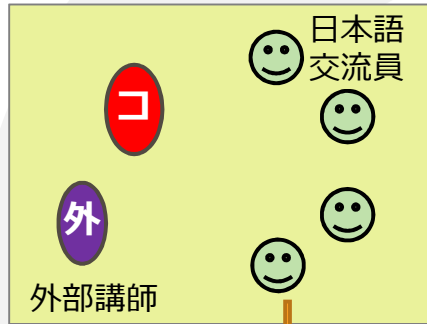
1対1日本語活動



多文化理解の取組



日本語交流員研修

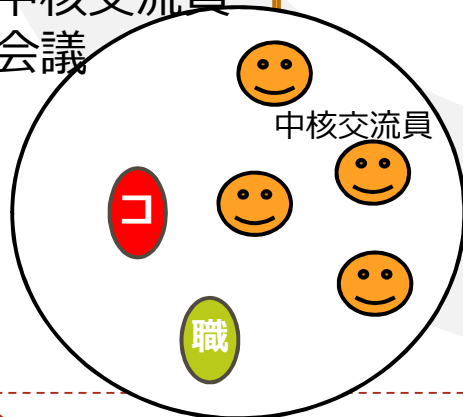


協会日本語教育事業担当職員 (鈴木) (Association Japanese Language Education Project Staff (Suzuki))

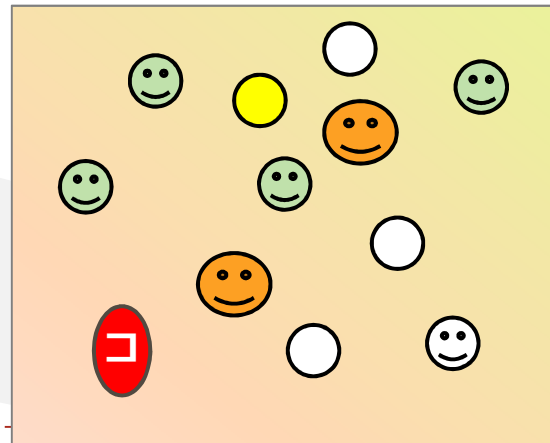
文化庁委託事業日本語教育コーディネーター (萬浪) (Ministry of Education Commissioned Project Japanese Language Education Coordinator (Manami))

職 (Green oval) and コ (Red oval) icons are shown.

中核交流員会議



対話型日本語クラス



積上げ方式初級日本語クラス (Stacking method Beginner Japanese Class)



文化庁委託事業

日本語交流員研修

日本語交流員

外部講師

コ

外

This diagram shows a light green rectangular area representing a training session. On the left, there is a red oval with the character 'コ' and a purple oval with the character '外'. On the right, there are five smiley face icons. The text '日本語交流員' is written vertically on the right side, and '外部講師' is written at the bottom left.

中核交流員
会議

中核交流員

コ

職

This diagram shows a large circle representing a meeting. Inside the circle, there are five orange smiley face icons, one red oval with 'コ', and one green oval with '職'. The text '中核交流員' is written at the top right, and '中核交流員 会議' is written at the top left. A red arrow points from the 'コ' in the training diagram above to the 'コ' in this meeting diagram.

1対1日本語活動

日本語交流員

外国人参加者

This diagram shows a light orange rectangular area representing a 1-on-1 activity. It is divided into two columns. The left column has four smiley face icons, and the right column has four smiley face icons, some of which are yellow. Lines connect the smiley faces in each column. The text '日本語交流員' is on the left and '外国人参加者' is on the right.

多文化理解の取組

一般市民

外

セミナー
絵本読み聞かせ
料理交流

This diagram shows a light blue rectangular area representing multicultural activities. It contains several smiley face icons, some white and some orange. There is a purple oval with '外' and a red oval with 'コ'. The text '一般市民' is at the bottom left, and 'セミナー 絵本読み聞かせ 料理交流' is at the bottom right.

協会自主事業

対話型日本語クラス

コ

This diagram shows a light orange rectangular area representing a dialogue-type class. It contains several smiley face icons, some white and some yellow. There is a red oval with 'コ' at the bottom left.

初級1 40時間
(ゼロスタート)

日本語教師
(中堅)
無償

教

責上ガ方式切

This diagram shows a light orange rectangular area representing a beginner class. It contains several smiley face icons, some white and some yellow. There is a red oval with '教' in the center. The text '初級1 40時間 (ゼロスタート)' is at the top, '日本語教師 (中堅) 無償' is on the left, and '責上ガ方式切' is on the far left.

初級2 20時間

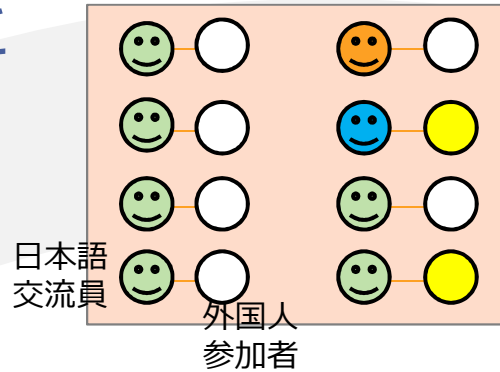
日本語教師
日本語学習
支援者
無償

日本語クラス

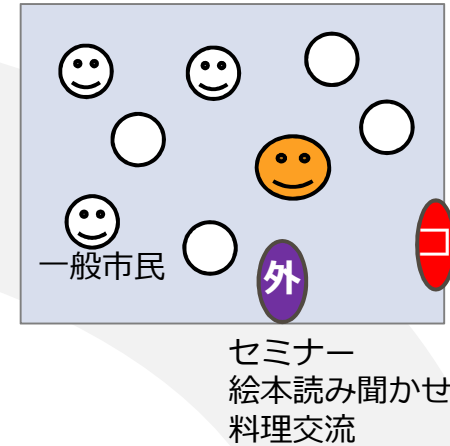
This diagram shows a light orange rectangular area representing a second-level class. It contains several smiley face icons, some white and some yellow. The text '初級2 20時間' is at the top, '日本語教師 日本語学習 支援者 無償' is on the left, and '日本語クラス' is on the far left.

4. 現在の日本語教育体制と人材配置

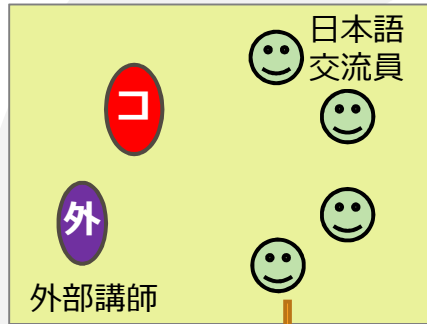
1対1日本語活動



多文化理解の取組

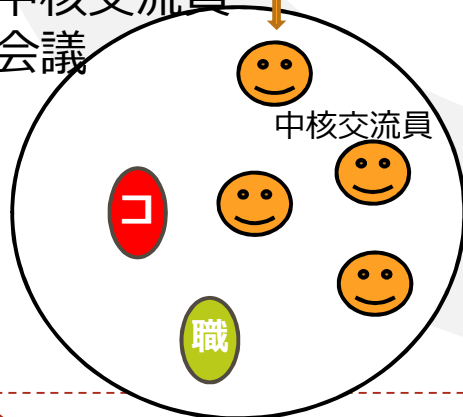


日本語交流員研修

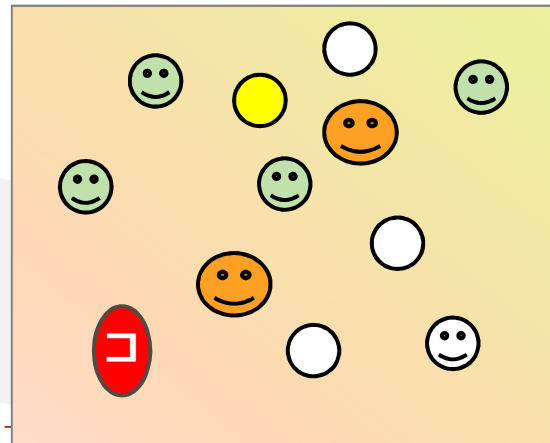


協会日本語教育事業担当職員 (鈴木) (Green circle with '職')
 文化庁委託事業日本語教育コーディネーター (萬浪) (Red circle with 'コ')

中核交流員会議



対話型日本語クラス

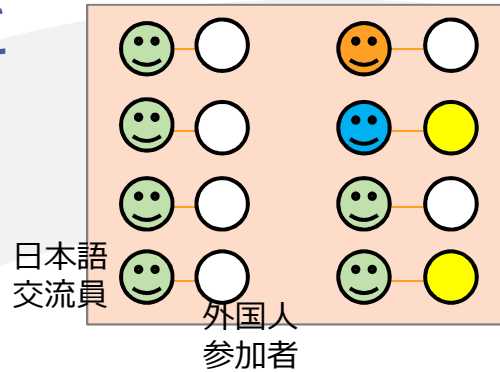


積上げ方式初級日本語クラス

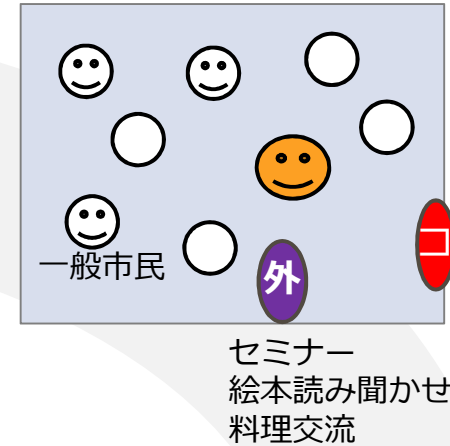


4. 現在の日本語教育体制と人材配置

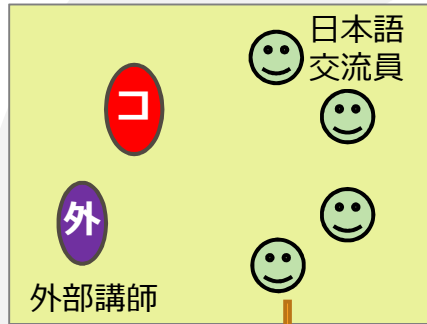
1対1日本語活動



多文化理解の取組



日本語交流員研修

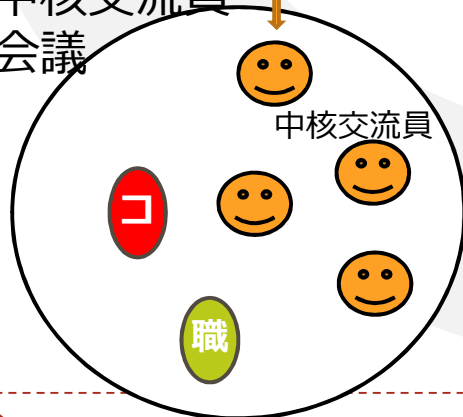


協会日本語教育事業担当職員 (鈴木) (Association Japanese Language Education Project Staff (Suzuki))

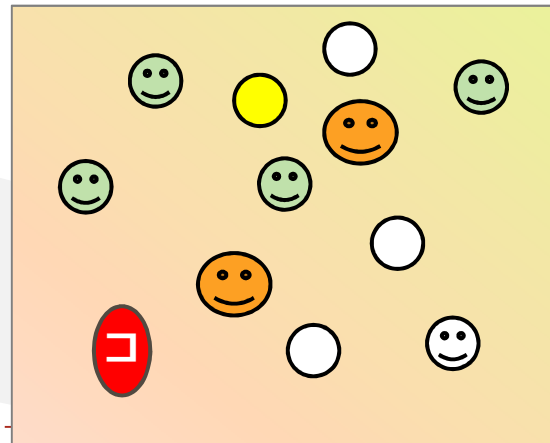
文化庁委託事業日本語教育コーディネーター (萬浪) (Ministry of Education Commissioned Project Japanese Language Education Coordinator (Manami))

職 (Green oval) and コ (Red oval)

中核交流員会議









対話型日本語クラス



積上げ方式初級日本語クラス (Stacking method Beginner Japanese Class)



5. 人材の役割

記号	名称	役割など
	交流員	主に1対1日本語活動に参加。週2時間程度。ペアの都合で日時を設定。3か月でペア交代。対等な関係づくり・対話・コミュニケーション支援・生活支援。年間250人が稼働。新基本講座を受講。
	中核交流員	交流員のうち、対話型日本語クラスの運営で協働するメンバー。現在8名。一部の対話クラスの進行を担う。日本語指導は要さない。「引き出す習得支援」を向上させている。
	学習支援者	日本語の基礎的文型を学ぶクラスを無償で担当。1対1日本語活動の交流員としても参加。
	日本語教師	ゼロスタートのクラスを地域貢献として長年無償で担当。
	日本語教育 コーディネーター	実践課題を設定し、日本語クラスや支援者研修、その他関連する取組を企画・運営。各人材と協働しながら取組を改善。
	担当職員	事務局として取組の進行を支える。事務所に常駐するため、日々来訪する上記人材と常にコンタクトがとれ、事業の中核となっている。

6. 日本語学習支援者の育成について

(1) 「日本語交流員」の役割

「日本語能力がまだ十分でない外国人参加者のパートナーとして、相手が伝えようとする意図を的確にくみ取り、受け容れ、同時に自分の思いや考えを相手にとって「わかりやすい日本語」で伝えること。最も大事なことは、同じ地域に住む外国人と日本語で対話することにより、相手と対等な人間関係を築くこと。」

『地域日本語ボランティア講座開催のためのガイドブック』日本語教育学会2014より

上記を「日本語交流員」の役割と定めるに至った理由：

- 「学習支援」を目的にすると母語話者の説明が過度に多くなり、非母語話者の日本語運用の機会が確保できない、または教わることに依存的になるケースがあった。
- 「学習支援」を第一目的とすると、効果的な日本語指導をしなければならないというイメージを母語話者に持たせ、心的負担から活動を離れてしまうボランティアがいた（と想像される）。
- 非母語話者にとって、①「伝えたいこと」があり、②「聴く人」がおり、③「安心してゆっくり表現できる環境」があれば、ごく初級の日本語能力しか持たない非母語話者であっても若干の支援と翻訳ツールを活用して自律的な日本語習得が促進された。

(2) 日本語交流員に対して実施している研修 (H30年度)

1) 日本語交流員新基本講座 (基礎編は受講必須)

- ①概要 | 日本語交流に欠かせない基礎的な知識とスキルの提供
期間 | 基礎編 2時間×3回 + 実践編 2時間×2回
受講資格 | 特になし
費用 | 4,000円 (賛助会員2,000円) + 2,000円 (賛助会員1,000円)

②身につけてもらうこと

- ・日本語活動の目的と背景の理解
- ・日本語交流により相互理解と日本語習得支援を両立させるための
コミュニケーションスキル (傾聴スキル、やさしい日本語)
- ・日本語活動のテーマの選び方と具体的な進め方

③新基本講座 研修内容

	タイトル	内容
基礎編	日本語交流員の役割とその背景	地域の多文化化／在留資格／自分の生活と在留外国人の関係／多文化共生施策／日本語交流員の役割
	コミュニケーションスキル「聴く・待つ」	多文化共生と対話／日本語交流員に求められる姿勢／日本語初級話者と対話するために必要なコミュニケーションスキル／傾聴演習
	「やさしい日本語」	やさしい日本語とは／やさしい日本語の基本ルール／演習／IT翻訳ツール紹介／日本語活動の素材
実践編	対話活動演習①	外国人参加者のライフステージに沿った話題／テーマの決め方（相互持ち寄り）／語りの可視化／自律的な学びの支援
	対話活動演習②	発話ターンのコントロール／インタビュー形式の対話活動／対話と読み書きの連動

2) 中核交流員に対する研修

①概要 | 各日本語クラスにおける習得促進の方法に関する研修

期間 | 各日本語クラス (※) について1回1.5時間

受講資格 | 中核交流員

費用 | 無料

※初級クラス

テーマでつながる日本語クラス

読み書きクラス

②身につけてもらうこと

- ・日本語学習者の日本語運用能力や学習スタイルの多様性に関する知識
- ・同じクラスに参加する一般市民や他の交流員に対しての声かけの方法
- ・クラスの目的ごとに習得支援に必要な日本語に関する知識

3) 昨年度までに実施した日本語交流員に対する研修の内容 (上記以外)

- ・「どうなってるの日本語文法講座」 動詞の活用／文体を観察する
- ・「対話の達人講座」 外国人参加者との対話活動を録音してふりかえる
- ・「どこまでサポートできる？相談への対応」 相談対応に関する知識と自身の基準決め

7 - 1. 成果

●日本語教育コーディネーターの配置

- 1対1の日本語学習支援事業において漠然と感じていた課題が明確になった。
→ 日本語指導型から対話型へ
- 外部の人材であったことで、従来、直接職員の耳に入らなかった日本語ボランティアの声が届き、協会として事業の課題に気づくことができた。
→ 「日本語を教える力量がないことが不安だった」「日本語活動の目的は相互理解という考え方にホッとした」「1年間のマッチングは重荷」「協会はペアの活動内容の把握や終了時評価が必要ではないか」等。
- 課題解決に向けた具体的包括的な取組が実現した。
→ 交流員研修と日本語クラスの双方向的な連環。重層的な人材とその役割の設定。

●中核交流員の出現

- 日本語クラスの設置により、交流員同士の協働の場が生まれた。
- 中核交流員は協会日本語教育事業の新たなコンセプトを強く共有し、協働によって寄り添い型の習得支援に関する専門性を更に高めており、現在の事業に欠かせない中核人材となっている。

7-1. 成果

●外国人参加者の満足度

- 「日本語の勉強になった」「日本語で交流することに自信がついた」「自分のことをたくさん聞いてもらった」など、対話型学習活動における母語話者との交流を通じて日本語運用力と学習意欲を養えることが確認できた。
- 日本語クラスにおいて主体的な学習を推奨することにより、教師や学習支援者に依存せず日々の生活の中で日本語力を高めていく方略を学んでいる。



H29年度 文化庁委託事業
ちば多文化協働プロジェクト

テーマでつながる 結婚・恋愛 日本語クラス

にほんご
1/17, 1/24, 1/31(水)
9:30-12:30 千葉市国際交流プラザ



「婚活」を知っていますか？あなたの国にもありますか？
日本の結婚年齢や相手の選び方は、昔と今と違いがある
でしょうか。
あなたの国と比べたり、違いの理由を考えたりしながら
日本語を学びます。

ステップ1からステップ3まで、参加してください

ステップ1 1/17(水)
予備（結婚・恋愛）について、専門家の話を聞いたり、調べたり話したりします。

ステップ2 1/24(水)
結婚・恋愛について意見や経験をスピーチしたり、
小さいグループで日本人と話し合ったりします。

ステップ3 1/31(水)
ステップ1・2をまとめたり、考えたことを
作文などで発信したりします。

参加費1200円
お茶菓子つき！



主催 千葉市国際交流協会 (CCIA) 担当 鈴木
〒260-0013 千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館8階
お申込み・お問い合わせ Tel.043-202-3000 email chibatabunka@cchia-chiba.or.jp

7-2. 今後の課題

● 市民参加の日本語クラスを企画運営する人材の確保

地域日本語教育は地域社会を構成する全ての市民が対象であるという観点から、対話型の日本語クラスには、日本語交流員のみならず、一般市民も参加できることが重要。非母語話者のほか、多様な母語話者が参画する学習活動を企画・進行できる日本語教育専門人材がなかなか見つからない。

● 日本語教育の専門性を要するクラスの講師の継続確保

● 初級2のクラスを担当できる日本語学習支援者の確保

基礎文型を用いて自己表現できる量を増やすため、初級クラス教材を見直し、担当できる日本語学習支援者を確保したい。

● 日本語教育コーディネーターの継続雇用

日本語交流員が負担なく活動しながら外国人参加者の主体的・自律的な日本語学習を促進できるような学習素材を充実させたい。また、日本語活動の内容や方法について、1対1のペアに対して随時アドバイスできる専門人材を置きたい。